

株式市場概況

先週の動き（11月23日～11月27日）

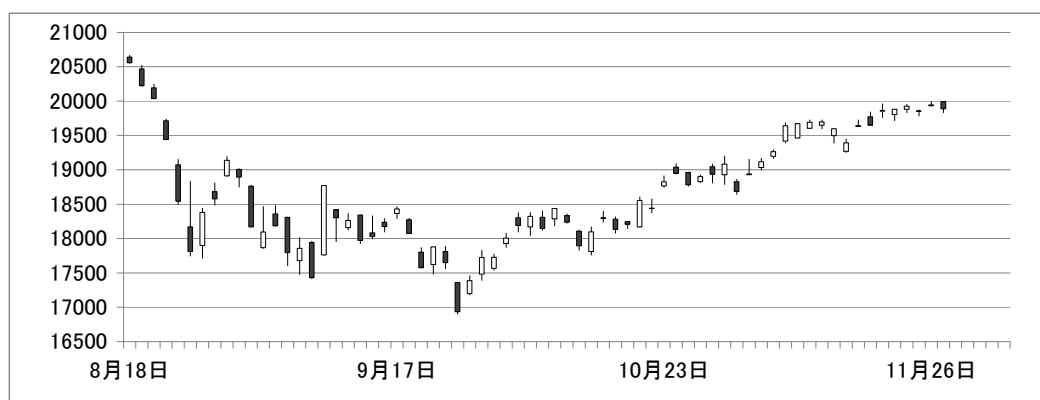
日経平均株価は2万円を前にしてもみ合う展開となった。追加緩和が期待される ECB 理事会を翌週に控え、欧州株は堅調な展開となっており、日本株も下支えされた。日経平均株価は前週末比+0.02%の1万9,883円で一週間の取引を終えた。

24日の引け後に、トルコ軍がシリアとの国境付近で、ロシア軍機を撃墜するという事態があり、市場の緊張感が高まる場面もあったが、一先ず大事には至ってはいない。同日にはチュニジアの首都で爆弾テロがあり、IS系の組織が犯行声明を出した。相場には影響を与えていないが地政学的リスクは高まっている。

米国の3QGDP（2次速報・年率）は前期比2.1%（予想2.1%・前回1.5%）と予想通り上方修正となった。しかし上方修正の理由は在庫増であり、好感できるものではない。米国の個人所得（10月分）は0.4%（予0.4%・前0.1%→0.2%）、個人支出（同）は0.1%（予0.3%・前0.1%）となった。

日本の全世帯家計調査（支出・10月）-2.4%（予0%・前-0.4%）と伸び悩んだ。

日経平均株価（2015年8月18日～）



セクター別では、地政学リスクへの懸念から原油高が見込まれ、鉱業が上昇率トップとなった。下落率トップは地政学リスク懸念から空運となった。その他、金融庁が4金融機関に自己資本比率を0.5%引き上げるよう要請したとの報道から、銀行と証券の下落も大きくなった。

スタイルインデックスでは2週連続でマザーズが上昇率、コア30が下落率でトップとなった。

表1. セクター、スタイル・インデックス動向

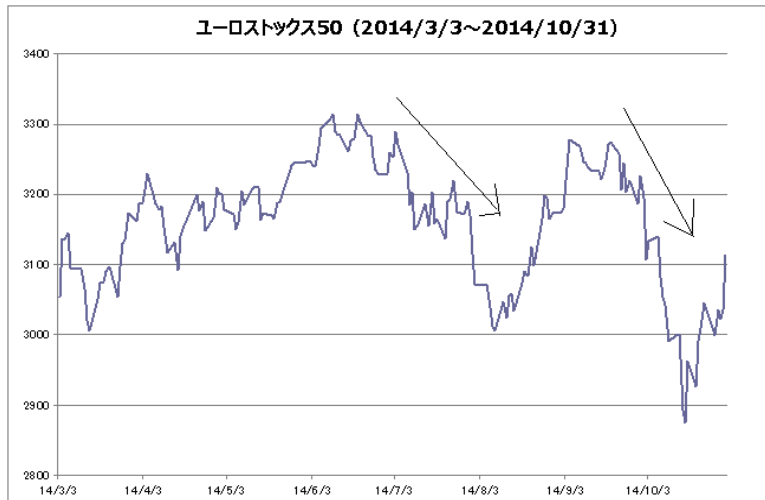
セクター動向（先週末比）			各種国内株式指数動向（先週末比）		
鉱業	2.04%	空運	-3.94%	マザーズ	4.71%
海運	1.32%	パルプ紙	-3.22%	TOPIXグロース	-0.31%
医薬品	0.98%	銀行業	-2.72%	東証2部	1.18%
非鉄金属	0.97%	証券商品先物	-2.47%	TOPIXL70	-0.49%
水産農林	0.76%	保険	-1.98%	REIT指数	0.69%
建設業	0.46%	ガラス土石	-1.49%	TOPIX	-0.54%
				TOPIXスモール	0.23%
				TOPIXバリュー	-0.78%
				日経平均株価	0.02%
				コア30	-1.00%
				ミッド400	-0.31%

今後の注目点

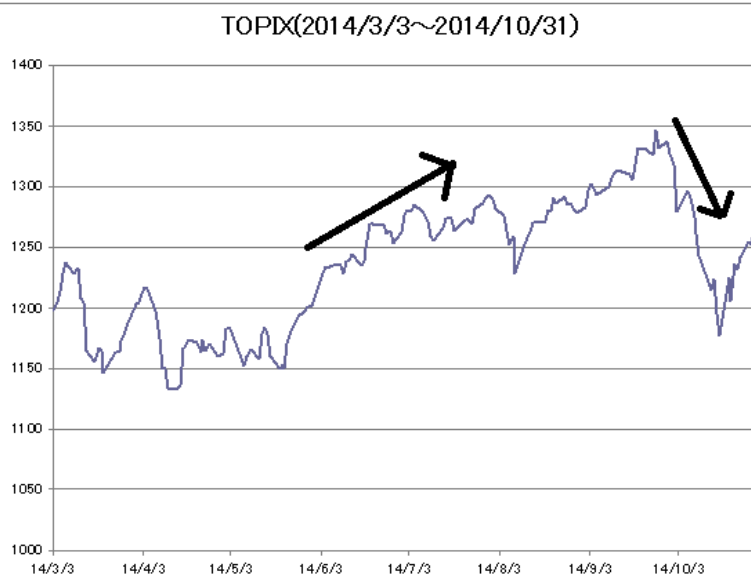
今週最大の注目点は、12月3日に行われるECB理事会での追加緩和に対する市場の反応だ。2014年6月5日に預金金利をマイナスに引き下げる決定を行なった際の、欧州の優良銘柄からなるユーロストックス50の株価動向を見ると、緩和決定後、株価は下落に転じた（下のチャート参照）。2014年9月に一段の政策金利の引き下げと、ABSなどの買い入れを決定した際も、株価は下落に転じていた。一連の動きを見ていると、今回も同様な動きになり易いだろう。しかし、同時期のTOPIXは強く、日本株には関係のない下げかも知れない。

その後の12月17日に、こちらは利上げが予想されるFOMCが控えている。そのため今週は、年末に掛けての展開を見通す上で非常に重要な週となるだろう。

2014年追加緩和発表近辺のユーロストックス50の動き

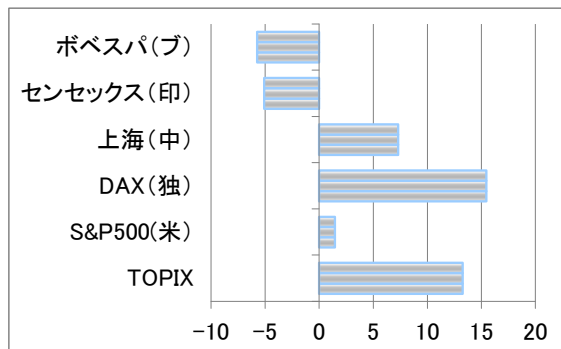


同期間のTOPIXの動き

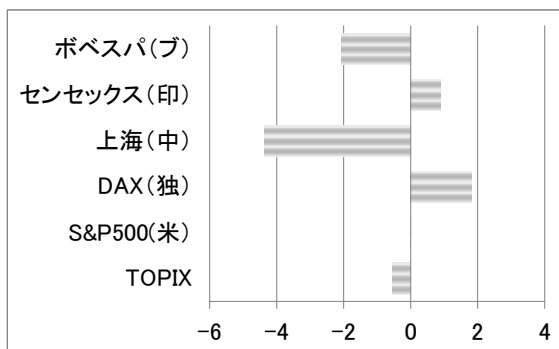


資料 各国株価動向

年初来上昇率 (%) 値は27日引け時点

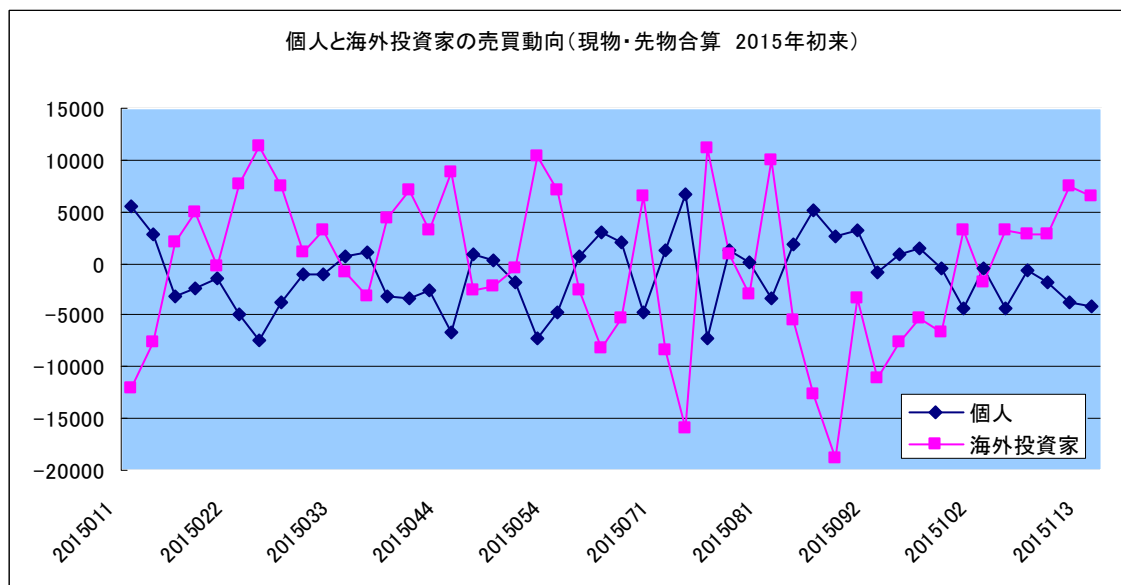


前週末比 (%) 値は27日引け時点



株式市場需給動向 (11月3週: 11月16日~11月20日)

11月3週は海外投資家、事業法人が買い越し、個人、信託銀行、投資信託が売り越した。海外投資家は5週連続の買い越し、個人投資家は8週連続の売り越しとなった。裁定買い残高は週間の増加額が、アベノミクス開始以来最大の5340億円となった。残高は3兆3,823億円となった。信用買い残高は1,412億円減少し、2兆2,914億円となった。



投資主体別売買動向（2015年11月3週）			
	現物（億円）	先物（億円）	差引（億円）
自己	3263.52	-2594.83	668.68
委託	-3041.91	2573.59	-468.33
自己・委託合計	221.60	-21.25	200.36
法人	-1054.43	-1418.66	-2473.09
個人	-4261.11	60.99	-4200.12
海外投資家	2447.38	3964.45	6411.84
証券会社	-173.76	-33.20	-206.96
投資信託	-114.95	-754.15	-869.09
事業法人	1107.09	-45.54	1061.55
その他法人	76.59	22.50	99.09
金融	-2123.16	-641.47	-2764.63
生保・損保	-413.84	-118.63	-532.47
都銀・地銀	-118.96	123.73	4.76
信託銀行	-1556.74	-638.66	-2195.40
その他金融機関	-33.61	-7.91	-41.52

(価格データはブルームバーグによる)

光世証券 小川 英幸

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第14号 加入協会/日本証券業協会